bluebanana99
DTVC-02
タッチパネル対応
地デジ化キット for H57/H58/H58R
取付・取扱説明書

TDN-H58Rがすでに装着されているお車に　本キット装着する場合は、配線変更が必要です。

Page:6　Page:21　を参照ください

Ver.3-1-1 2014.04.12

bluebanana99
協力：aditl

この度は「タッチパネル対応地デジ化キット for H57/H58/H58R」をご購入頂き、ありがとうございます。

このキットは、トヨタ純正オプションの地上デジタルテレビチューナーを 純正ナビゲーション・オーディオユニットのタッチパネルによって、操作を可能にさせるための機器、およびハーネス類をセットにしたものです。

【注意事項】
・本キット装着は、自動車電装部品取付けの　知識・技術がある方が作業してください。
・初期不良を含め、キット代以外（脱着工賃等）の請求には応じられません。
・GVIFインターフェース（Multimedia Video Interface）の分解は行わないで下さい。
　分解が認められた場合、メーカーの保証が受けられなくなります。
・このキットが適合し、タッチパネル操作が可能となる、チューナー、ナビゲーション・オーディオユニットは限定されています。
・本キットには、チューナー本体、アンテナは含まれていません。
・電源への接続については、ユーザー様にて必要な部品を用意して頂いた上、行ってください。
・本キットを装着する際には、IGオフ後、約10分待ち、バッテリーを切り離してから作業してください。
・バッテリーを切り離す事により、平均燃費、ナビゲーション、オーディオ、シートメモリーなど、各種設定がリセットされます。
　「メニュー」→「ユーザーカスタマイズ」で、現在のナビ設定を記憶させておくことをお勧めします。
・本キットは、デジタルテレビチューナー、および車輌のメーカーの承認を得て販売するものではありません。
・本キットについて、デジタルテレビチューナー、および車輌メーカーへ問合せすることはできません。
・本キットの装着により、デジタルテレビチューナー、および車輌の保証が無効となる可能性があります。
・純正ナビゲーションの地図更新、プログラム更新などにより、本キットが使用できなくなる可能性もあります。
・ナビの地図データーのバージョン（特に2007年までのバージョン）によっては放送局名が表示されない場合があります。
・DTVモードになった時、1,2秒間画面が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。
・本キットの内容、仕様は、予告無く変更することがあります。

【お問い合わせ先】
本キットに関するお問合せは、下記インターネット掲示板にて対応します。必要な場合にはご利用下さい。

メール：webmaster@bluebanana99.com 掲示板：http://touch-dtv.1616bbs.com/bbs/

【免責事項】
本キットの装着は、自己責任にて行ってください。
本キット装着時に発生した全てのトラブルについての責任を放棄します。
本キットを正しく装着しなかった事によって発生した全ての障害についての責任を放棄します。

2011年8月　bluebanana99　協力：aditl

適合について

- **本キットが適合するチューナー**
  TDT-H57　トヨタ品番：08548-00230 , 08548-00240 , 08548-00260
  TDN-H58　トヨタ品番：08548-00290
  TDN-H58R　トヨタ品番：08548-00300　レクサスDOP品番：08548-00310（本体ラベル 08548-00330 も適合します）
  注意：TDT-H57R　トヨタ品番：08548-00250　レクサスDOP品番：08548-00200　は、音声出力系統が異なる為、不可

  TDN-H58,H58Rは、本体が共通で　本体ラベルには、CY-WS0800CJ　-WS0801CJ　-WS0802CJ –WS0803CJ

- **アンテナセット（フィルムアンテナとアンテナケーブルのセット）**
  TDT-H57 用　トヨタ品番：08544-00610（フロント2ch）　08544-00530（リア2ch）
  TDN-H58 用　トヨタ品番：08544-00710（フロント4ch）
  TDN-H58R 用　トヨタ品番：08544-00710（フロント4ch）

- **フィルムアンテナのみの場合（補修用）**
  TDT-H57 用　トヨタ品番：フロント用08549-00140、　リア用　08544-00560
  TDN-H58、H58R 用　トヨタ品番：左席用　08549-00190、　右席用 08549-00180

本キットが適合する車種

LEXUS

アナログテレビチューナーが装備されている LS（IPA装備車にも装着可能）、GS、IS、IS-F
リヤシートエンターテイメントシステム装備車には装着できません。

180系後期マジェスタ　年式：**H18.07～H21.03**（IPA装備車には装着できません）

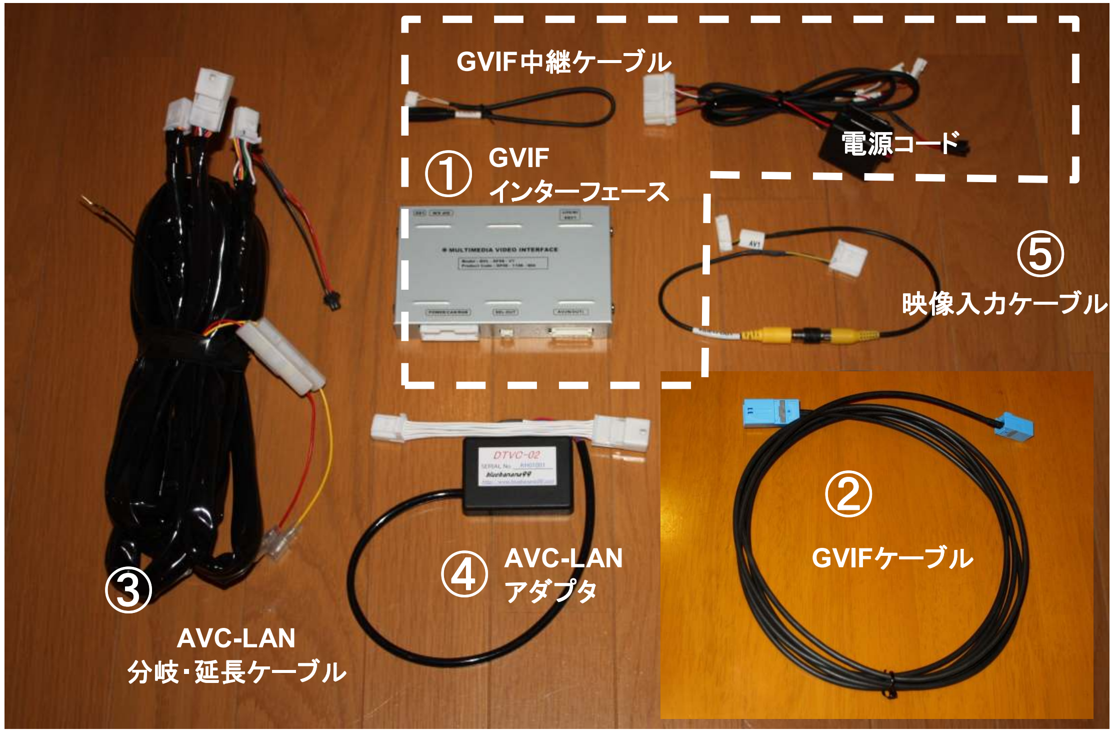
180系後期クラウン　年式：**H17.10～H20.02**（IPA装備車には装着できません）

120系後期マークX　年式：**H18.10～H21.10**（IPA装備車にも装着可能）

200系前期ランクル　年式：**H19.10～H21.04**（IPA装備車には装着できません）

※IPA：インテリジェントパーキングアシストシステム

タッチパネル対応地デジ化キット for H57/H58 内容



＜仕様＞

・基準電圧 ：13.2V

・使用温度範囲： -10～+55℃ （結露なきこと）

① **GVIF インターフェース**
この装置により、チューナーからの映像信号をGVIF（デジタル映像信号）へ変換します。
GVIF中継ケーブル、電源フィルターが付属します。

② **GVIFケーブル**
デジタル信号に変換された映像信号をナビユニットへ入力するためのケーブルです。

③ **AVC-LAN分岐・延長ケーブル**
ナビユニットでチューナーを制御するための信号、音声信号のためのケーブルです。
ナビ・オーディオユニットに接続されている既存ハーネスに割込ませる形で接続します。

④ **AVC-LANアダプタ**
ナビとチューナーとの通信を行う為のアダプタです。

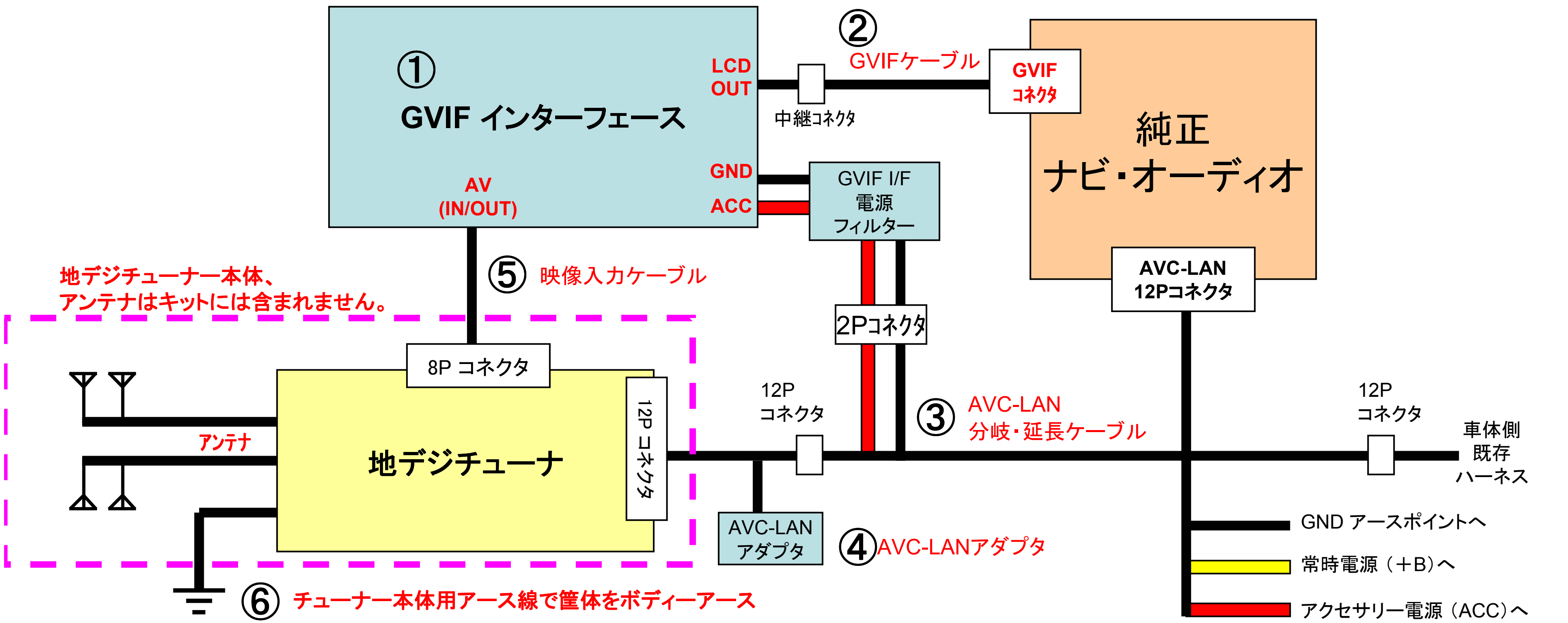
⑤ **映像入力ケーブル**
チューナーの映像出力をGVIFインターフェースへ入力するためのケーブルです。

⑥ **チューナー本体用アース線**
地デジチューナーTDT-H57/TDN-H58/TDN-H58Rの筐体をボディーアースするための線です。

＜取付けについて＞

①GVIFインターフェース、②AVC-LANアダプタ は、地デジチューナー、マットに両面テープやマジックテープ等で固定してください。

両面テープ、マジックテープは付属していませんので、別途ご用意ください。



① **GVIF インターフェース（電源フィルター付き）**
この装置により、チューナーからの映像信号をGVIF（デジタル映像信号）へ変換します。

② **GVIFケーブル**
デジタル信号に変換された映像信号をナビユニットへ入力するためのケーブルです。

③ **AVC-LAN分岐・延長ケーブル**
ナビユニットでチューナーを制御するための信号、音声信号のためのケーブルです。
ナビ・オーディオユニットに接続されている既存ハーネスに割込ませる形で接続します。
電源取り込み用のコードが出ています。**黄：常時電源（+B）、赤：アクセサリー電源（ACC）、黒：アースポイントへ接続します。**

④ **AVC-LANアダプタ**
ナビとチューナーとの通信が適切に行われるよう、制御する為のアダプタです。

⑤ **映像入力ケーブル**
チューナーの映像出力をGVIFインターフェースへ入力するためのケーブルです。

⑥ **チューナー本体用アース線**
地デジチューナーTDT−H57/TDN−H58/TDN−H58Rの筐体をボディーアースするための線です。（チューナー付属のビスで筐体へ接続）

※リモコンとの併用は出来ません。
リモコン受光部を接続すると、タッチパネル化出来ませんので、ご注意ください。

地デジチューナー

リモコン受光部は
接続しません

アンテナへ
接続

8P コネクタ

映像入力ケーブルを使用して、
GVIFインターフェースの
AV(IN/OUT)と接続します

12P コネクタ

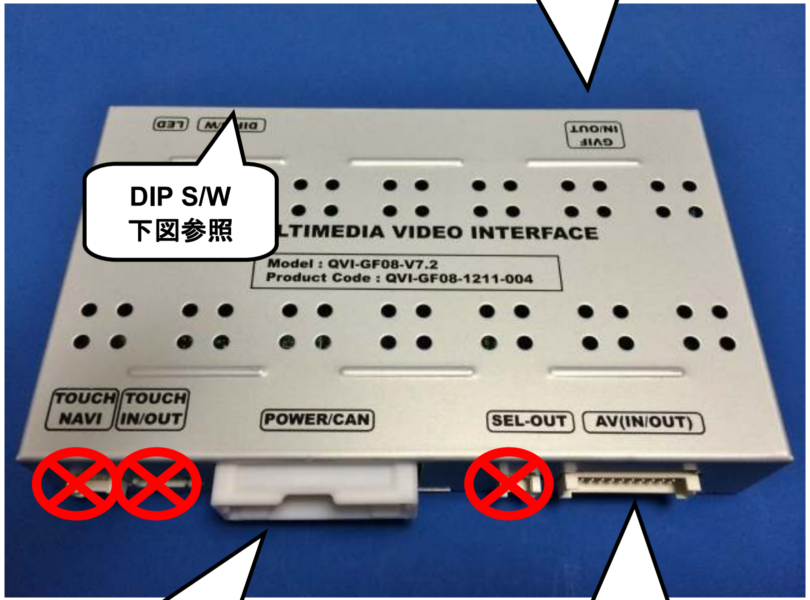
AVC-LANアダプターを
接続します

Ⓧ :使用しません

GVIF インターフェース

LVDS OUT

GVIF中継ケーブル、GVIF
ケーブルを使用して、ナビの
GVIFと接続します



DIP S/W
下図参照

GVIFインターフェースの電源

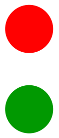
電源フィルターとAVC-LAN分
岐・延長ケーブルを使用して、
ACC、GNDへ接続します

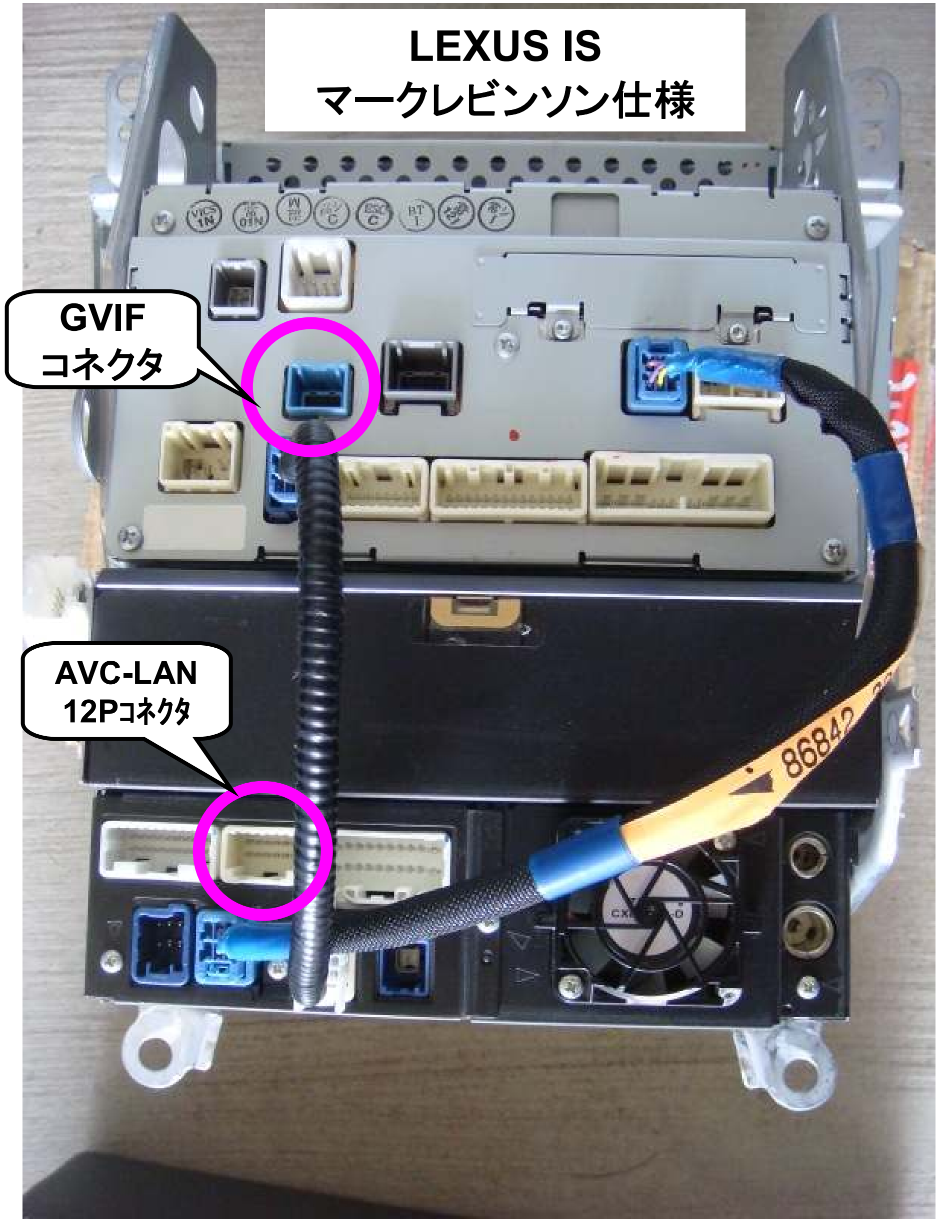
AV（IN/OUT）

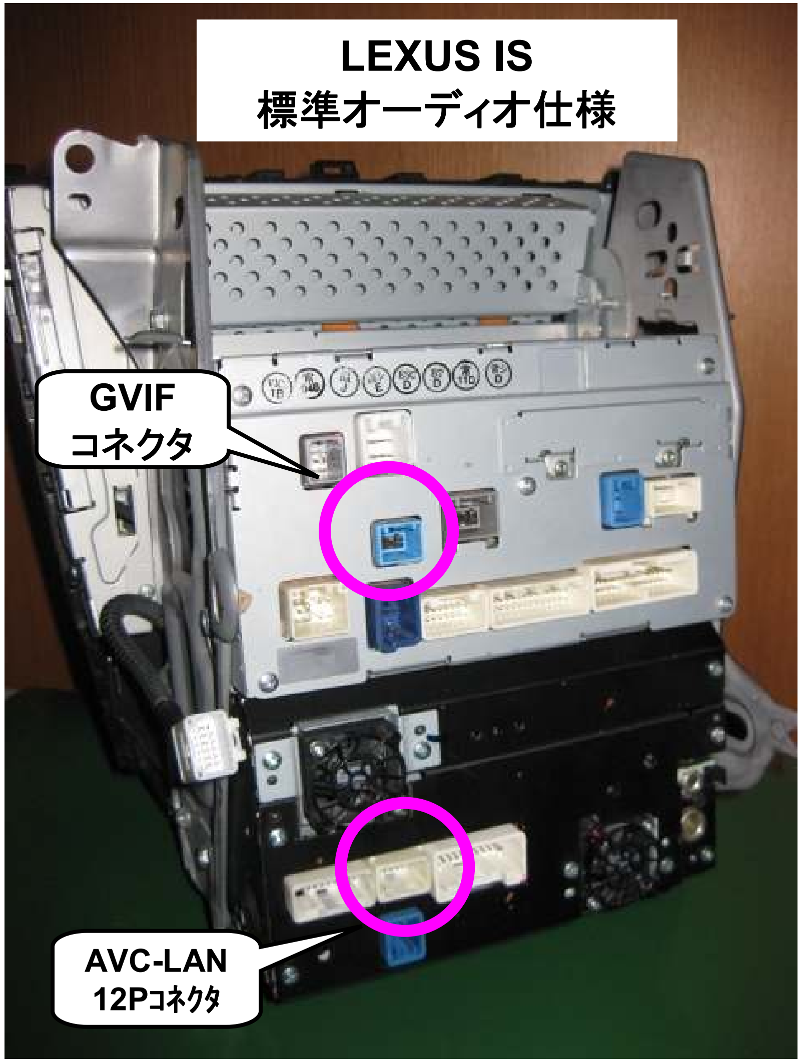
映像ケーブルを使用して、
チューナーとを接続します

DIP S/W の設定

LED



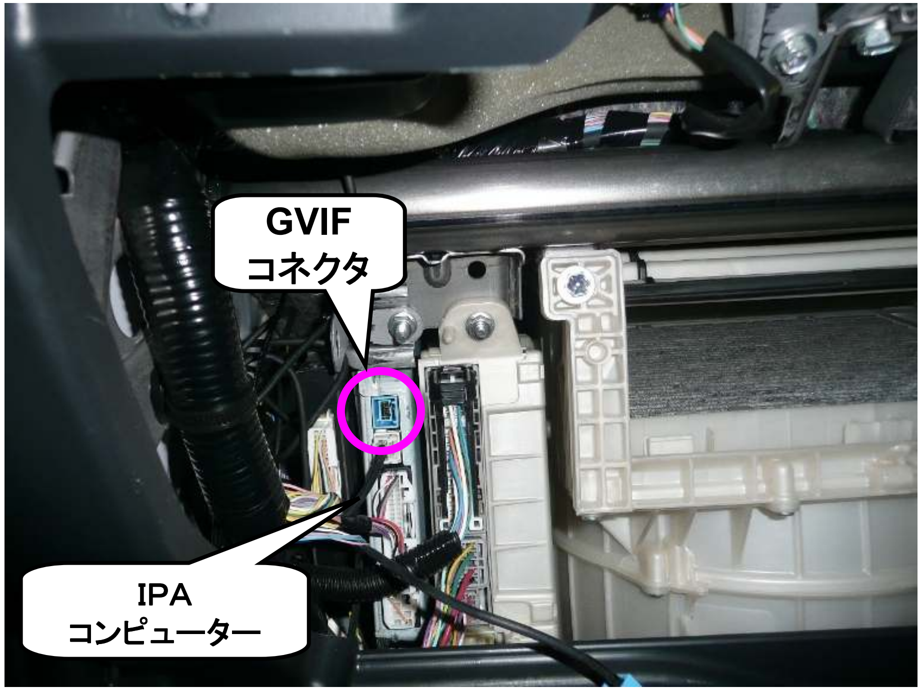




- GVIFコネクタには、元々何も接続されていません。(レクサスLS IPA無しで、既に接続されている場合は、外して 本キットのGVIFケーブルを接続します）
- AVC-LAN 12Pコネクタに接続されている既存のカプラを外し、分岐・延長ケーブルを割り込ませます。

※ マークX レクサスLSのIPA装備車の場合は次頁参照下さい。

マークX IPA装備車



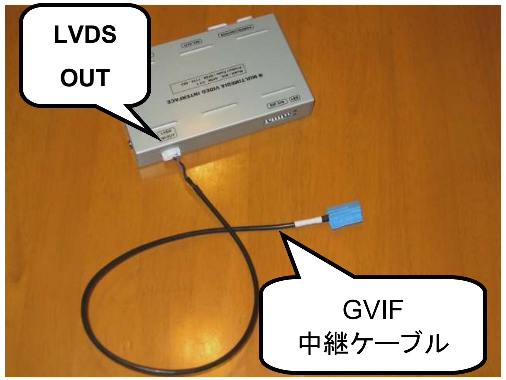
レクサスLS IPA装備車

マークX レクサスLSのIPA装備車の場合、GVIFケーブルの青いコネクタの接続位置が異なります。

上の写真の通り、グローブボックスを外した奥、左下にある IPAコンピューター(カメラコントローラー)の青い空きコネクタへ接続します。

接続方法：GVIFケーブルの接続

①



②

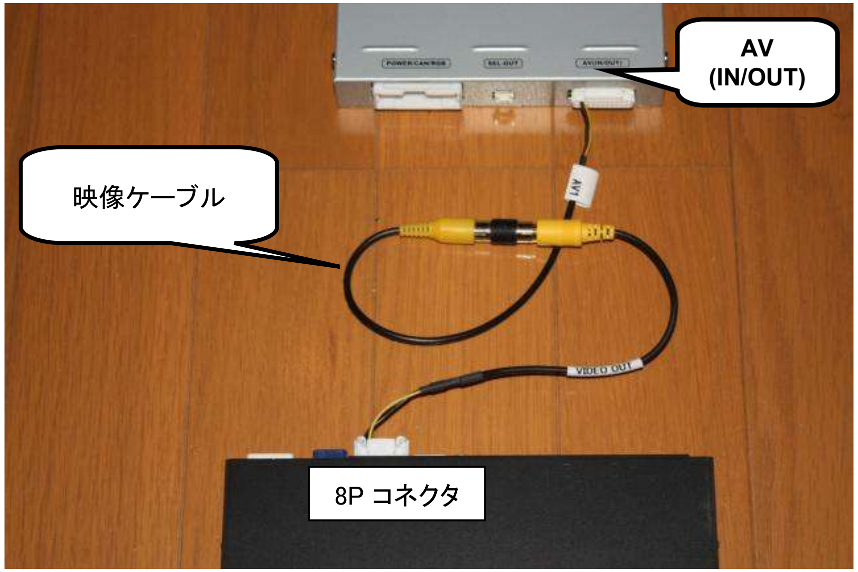
③

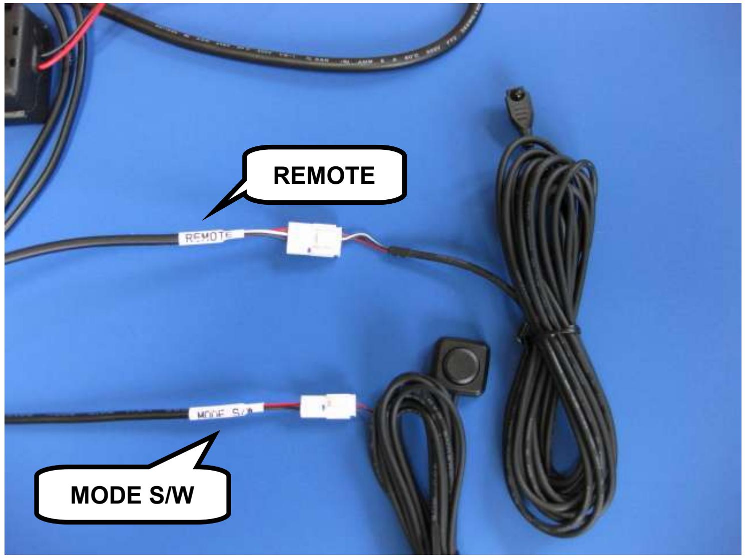
① **GVIF インターフェースの「LVDS OUT」に、GVIF中継ケーブルを接続します。**

② **GVIFケーブルをGVIF中継ケーブルに接続します。**
①のGVIF中継ケーブルに、GVIFケーブルのコネクタを接続します。

③ **GVIFケーブルをナビユニットに接続します。**
GVIFケーブルの青いコネクタをナビのGVIFコネクタ（青）に接続します。
(レクサスLS　IPA無しで、既に接続されている場合は、外して　本キットのGVIFケーブルを接続します）

※マークX　　レクサスLS　IPA装備車の場合は前頁参照のこと。





① チューナーの「8P コネクタ」と、GVIFインターフェースの「AV(IN/OUT)」とを映像ケーブルで接続します。

② GVIFインターフェースの電源コード「REMOTE」にリモコン受光部を 「MODE S/W」にMODE SWを接続します。

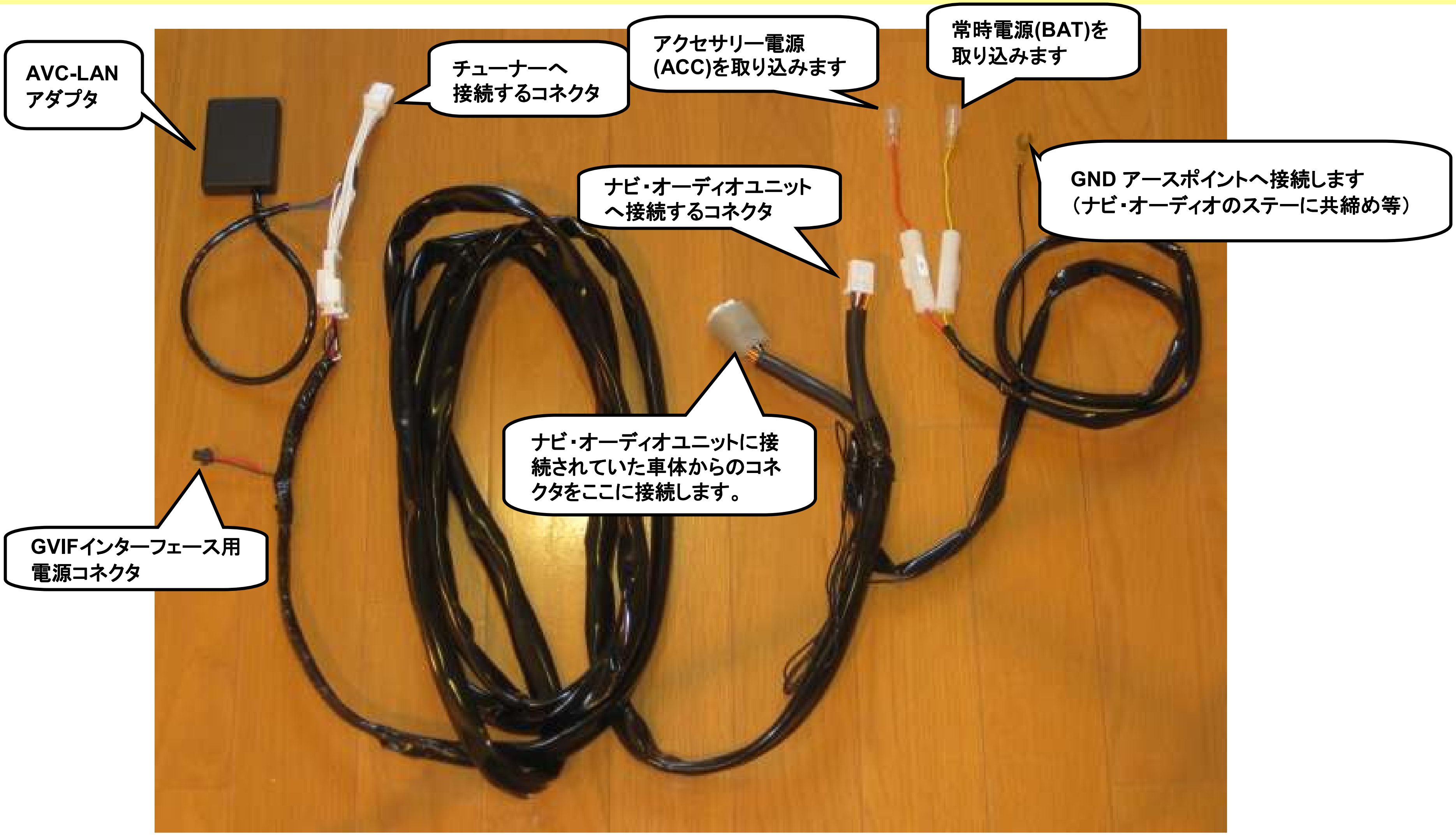
リモコン受光部は P.17の画質調整が必要な場合に使用します。通常の操作では使用しませんので、センターコンソール横などに設置してください。

MODE SWは、GVIFインターフェースのリセット操作に使用します。

地デジ映像が受信状況が良好にも関わらずフリーズしてしまった場合は、MODE SWを1、2回押すことで復帰します。

センターコンソール横など 走行中でも操作出来る位置に設置してください。

接続方法：AVC-LAN分岐・延長ケーブル 各部説明

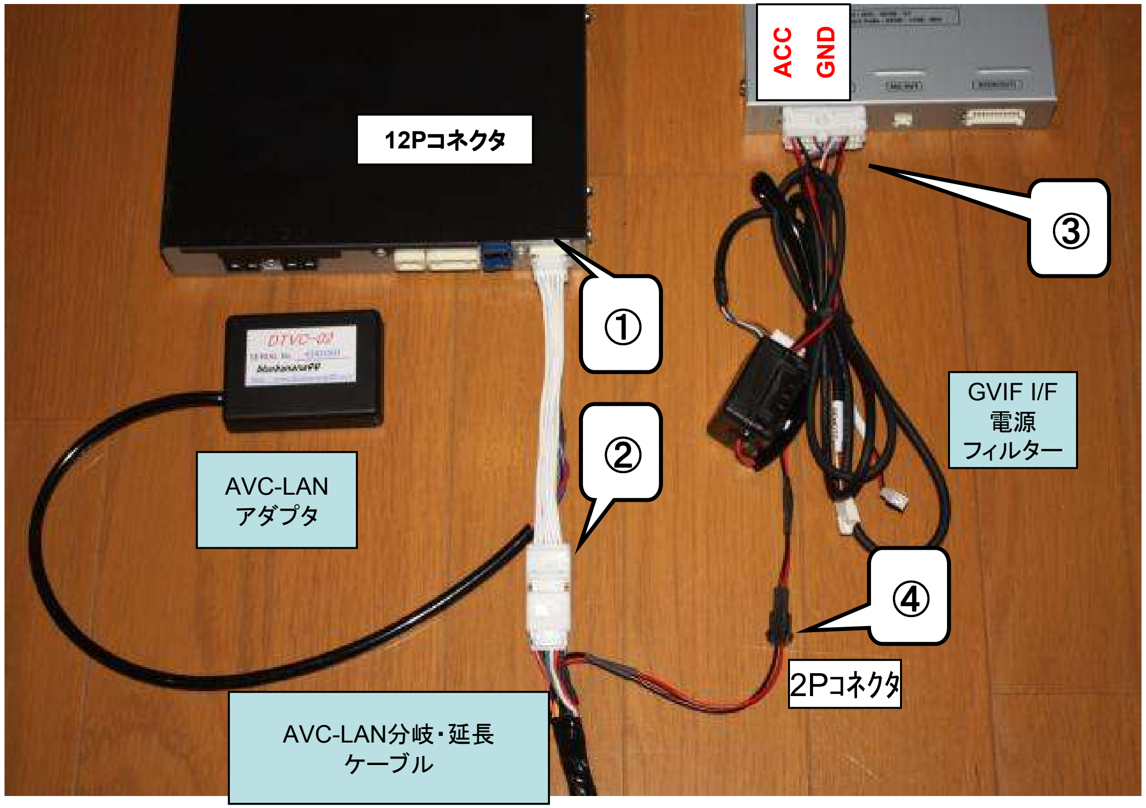


AVC-LAN分岐・延長ケーブルは全長 約3m です。

片側には、チューナーへ接続するコネクタ(12P)と、GVIFインターフェース用電源コネクタ（2P)があります。

もう一方は3本に分かれていて、ナビ・オーディオユニットに接続するコネクタ(12P)、ナビ・オーディオユニットに接続されていた車体側のコネクタを接続するコネクタ、電源用のギボシ端子、アースへ接続するクワ型端子があります。

接続方法：AVC-LAN分岐・延長ケーブルの接続　その１



赤LED：電源オン　　緑LED：DTV映像入力アリ

① チューナーの「12Pコネクタ」に、AVC-LANアダプタを接続します。

② AVC-LANアダプタの１２Pメスコネクタに、AVC-LAN分岐･延長ケーブルを接続します。

③ GVIFインターフェースに電源フィルターを接続します。

④ 電源フィルターから出ている黒い2Pコネクタを AVC-LAN分岐･延長ケーブルから出ている2Pコネクタに接続します。

※GVIFインターフェースには電源ランプとDTV映像入力有無を示すランプがあります。(右上図参照)
赤: 電源の状態を示します。　緑: 映像信号の状態を示します。

接続方法：AVC-LAN分岐・延長ケーブルの接続　その２

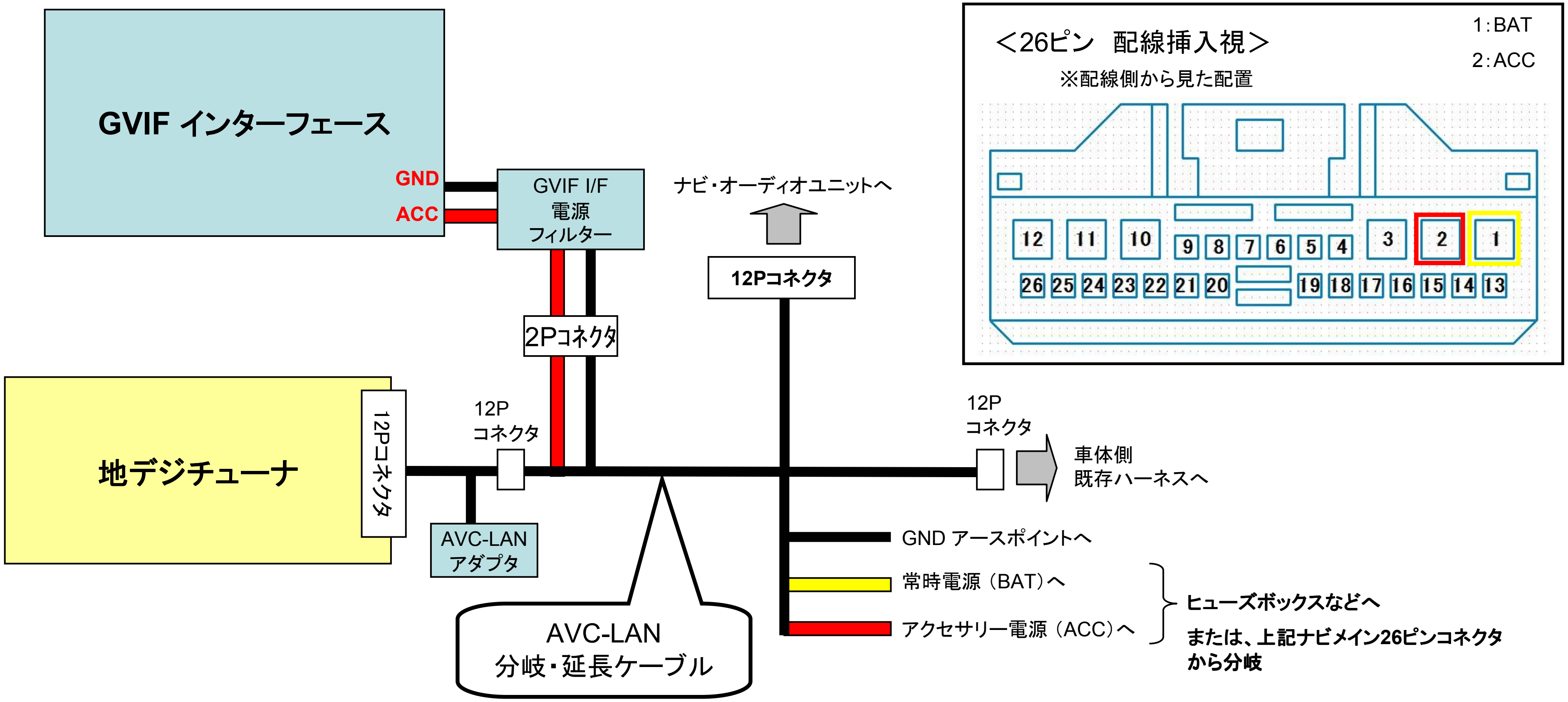
①この12Pコネクタに接続されていたハーネスを外し、
② AVC-LAN分岐・延長ケーブルを接続します。

③ ①で外したコネクタをここに接続します。

① ナビ・オーディオユニットに接続されている12Pのコネクタを外します。

② AVC-LAN分岐・延長ケーブルの12Pコネクタをナビ・オーディオユニットの①で外して空いた12Pコネクタに接続します。

③ ①で外したコネクタをAVC-LAN分岐・延長ケーブルの12Pコネクタに接続します。



チューナーとGVIFインターフェースの電源は、AVC-LAN分岐･延長ケーブルから供給する仕様になっています。
AVC-LAN分岐･延長ケーブルから、**黄色の常時電源(BAT)、赤のアクセサリー電源(ACC)、黒のGND** へ接続するためのケーブルが出ています。

BATとACCに接続するケーブルにはギボシ端子のオス。アースへ接続するケーブルにはクワ型端子が付いています。

BAT、ACCは、AVC-LANコネクタ内にもありますが、電流容量不足のため、必ず　ヒューズボックス　または、ナビメイン26ピンコネクタ（右上図参照）などから取り出してください。

GNDは、アースポイント（ナビ・オーディオユニットステーに共締め）などへ接続してください。

ギボシ端子、クワ型端子が不要な場合は、適宜加工してお使い下さい。

デジタルテレビチューナーの使用方法については、メーカーの取扱説明書に準じます。

ナビゲーション・オーディオユニットの使用方法についても、車輌メーカーの取扱説明書に準じます。

• チューナーの電源ON/OFFについて

特に意識する必要はありません。
ナビゲーション・オーディオユニットのモードがデジタルテレビチューナーへ切り替わると同時に、チューナーの電源も入ります。
※DTVモードになった時、1,2秒間画面が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。

• デジタルテレビチューナーへの切り替え

① **ナビゲーション・オーディオユニット本体での操作**
「テレビ」もしくは「TV」ボタンを押すことで下記の順に切り替わります。
→(アナログ)テレビ → デジタルテレビ → (外部入力) →
デジタルテレビチューナーに切り替わると、画面左上に「**DTV**」と表示されます。
※外部入力は、外部入力用のケーブルが接続されている場合のみ表示されます。

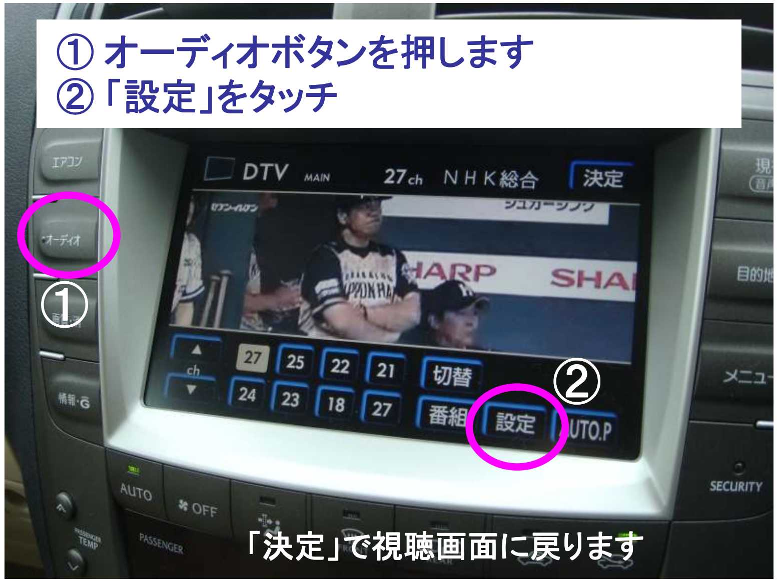
② **ステアリングスイッチによる操作**
ステアリング上の「MODE」ボタンを押す事で、各種オーディオ機器への切り替えができます。
デジタルテレビへの切換えも可能です。

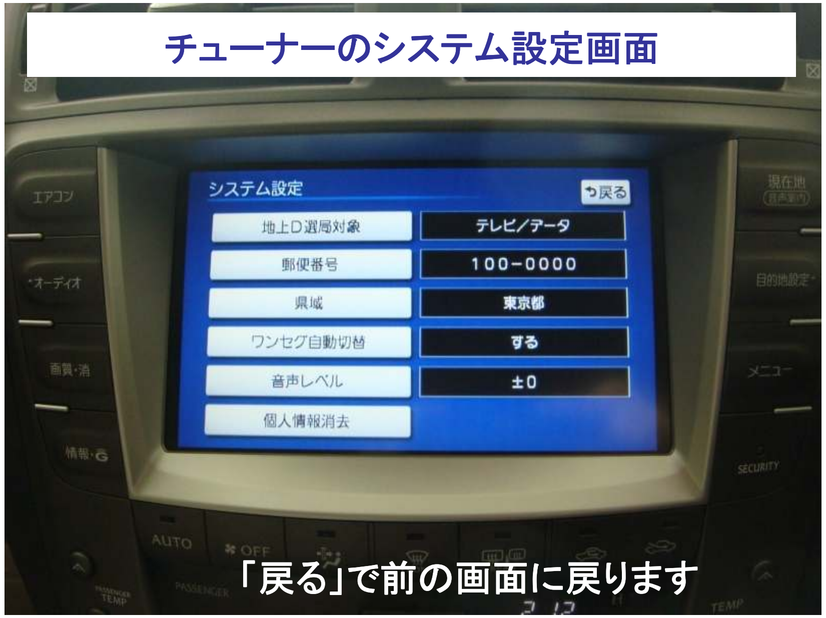
③ **音声コマンド**
対応車種によりますが、「音声拡張モード」に設定されている場合、
“でじたるてれび”
と発声することで、デジタルテレビに切り変える事が可能です。

• チャンネルの切り替え、音量の調整

ナビゲーション・オーディオユニットの使用方法に準じます。ステアリングスイッチによる操作も可能です。
音声コマンドにより、「えぬえいちけいそうごう」「ふじてれび」「てれびあさひ」等と放送局名を発声することで、視聴チャンネルを切り替えることも可能です。(対応車種によります)

チューナーの設定画面への移行手順





※ デジタルテレビチューナーの各種設定については、メーカーの取扱説明書に準じます。

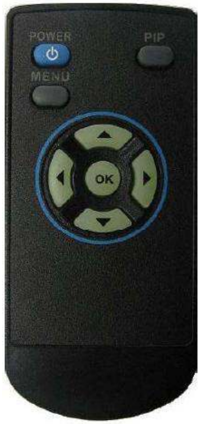
画質の調整について（１）

DTVモードでの画質調整は、ナビ左側の「画質･消」ボタンを押す事で、
コントラストと明るさの調整が可能です。

しかし、画面が全体的に白い場合があり、上記調整だけでは適切な画質に調整できない事があります。

そのような場合には、下記の方法で調整してください。

※ 調整の際には、事前にコントラストと明るさは中間にしておく事をお薦めします。

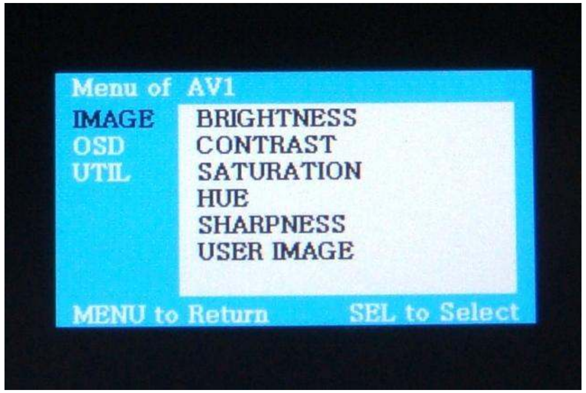


GVIF インターフェースに付属のリモコンと、受光部を使用します。

受光部は左写真の様に「REMOTE」へ接続してください。

リモコンには、付属のボタン電池をセットします。

※ リモコン、受光部はロットにより形状が異なる場合があります。
「POWER」、「PIP」ボタンは機能しません。



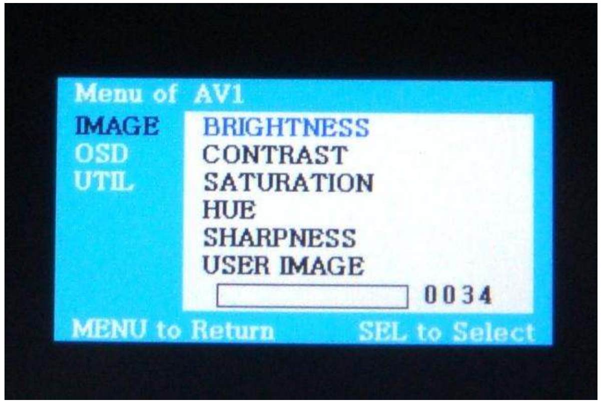
DTVモードにて、リモコンを受光部に向け、「MENU」ボタンを押すと、左写真の様なメニューが画面中央部に表示されます。

MENUボタンを再度押すと、メニューは終了します。
１５秒程無操作状態が続いた場合、メニューは自動終了します。

※ ロットにより、メニューの表記が若干異なる場合があります。

次ページへつづく

画質の調整について（２）



リモコンの▲▼ボタンで、調整したいメニューを選択します。

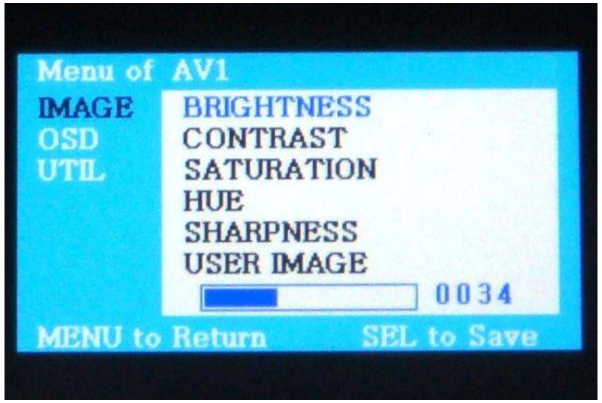
ここでは、IMAGE を選択し、「OK」ボタンを押します。

右側の項目の操作が可能になります。

（MENUボタンを押すと、左側のメニューに戻ります）

調整したい項目
BRIGHTNESS（明るさ）、**CONTRAST**（コントラスト）、
SATURATION（あざやかさ）、**HUE**（色あい）、**SHARPNESS**（強調度）、
を▲▼ボタンで選択し、OKボタンで決定します。

※ USER　IMAGE は選択しないでください。



選択した項目の調整が可能になります。
（左写真は BRIGHTNESS が選択された状態です）

メニュー下部にスライドバーが表示されます。

▲▼ボタンで調整します。

OKボタンで調整値を決定します。

※ 左写真は黒い背景ですが、実際は受信中の番組が表示されています。

調整が終了したら、リモコン受光部とリモコンは必要ありません。リモコン受光部はGVIFインターフェースから切り離してください。

一度調整された項目は記憶され、電源を切っても保持されます。

既に放送が終了しているアナログテレビを無効化することができます。

写真〇印は、アナログテレビ用のアンテナが接続されるコネクターです。

このコネクターを外す事で、アナログテレビが無効化され、「テレビ」ボタン、もしくはステアリングスイッチの「MODE」を押しても、アナログテレビには切り替わらなくなります。

※ 写真は LEXUS IS の標準オーディオ仕様です。

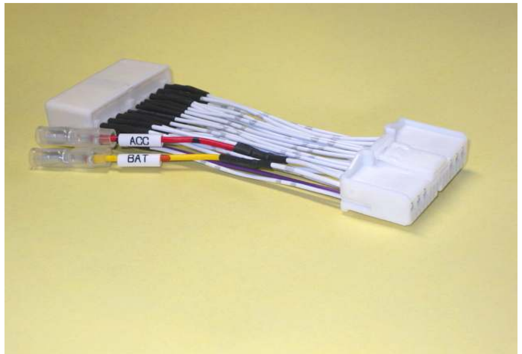
※ 注意 ※

- VICSや、他の機能に影響が無い事は確認しておりますが、念の為、全てを元に戻す前に、十分に確認をしてください。
- 自己責任にてお願い致します。

テレビキット　TC-M01　*ナビ操作　不可

・走行中、地デジ 、DVD（純正デッキに再生機能がある場合）、外部入力(VTR)映像　を　常時視聴可能にする　ハーネス

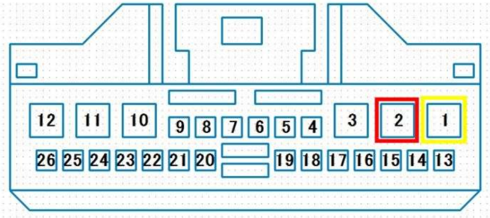
・電源分岐線付　　タッチパネル化キットに必要な電源を26ピンコネクタから取れるので、取付け作業が容易になります。



テレビ・ナビコントローラー　SNTC-M01 *ナビ操作　可能

・テレビキット　TC-M01 の機能に加え、ステアリングスイッチ操作で　走行中、ナビ操作を可能にするコントローラー

・電源分岐線付　　タッチパネル化キットに必要な電源を26ピンコネクタから取れるので、取付け作業が容易になります。



1ピン黄色：常時電源(BAT)

2ピン赤色：アクセサリー電源(ACC)

※配線側から見た配置

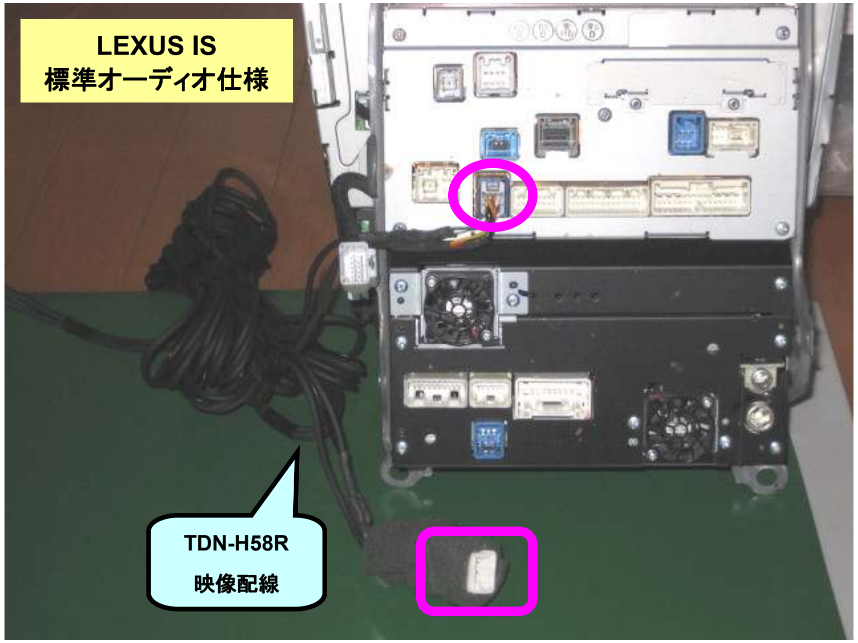
※ お問合せは http://www.bluebanana99.com まで

TDN-H58Rがすでに装着されているお車に　キット装着する場合は、配線変更が必要です。

既設のTDN-H58R　12ピンの電源配線は、本キットのAVC-LANケーブルに変更してください。

TDN-H58R本体に接続されている　4ピンのリモコン受光部　　6ピンの映像配線を外してください。　　**Page.6参照**

※リモコンとの併用は出来ません。 リモコン受光部を接続したままですと、タッチパネル化出来ませんので、ご注意ください。



（○）のコネクタをデッキ（マルチ）から外し、（□）に差し込まれている　AUX入力（VTR入力）コネクタを（○）の場所に接続します。

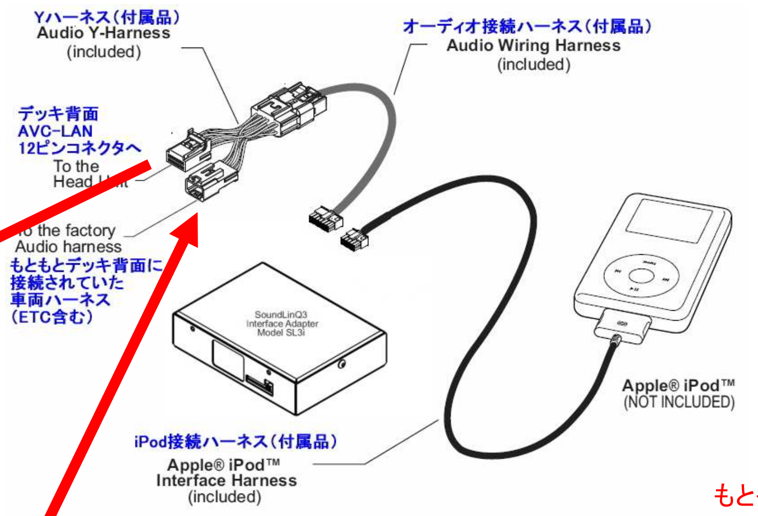
配線変更しないと、AUX入力　（VTR入力）が使用できません

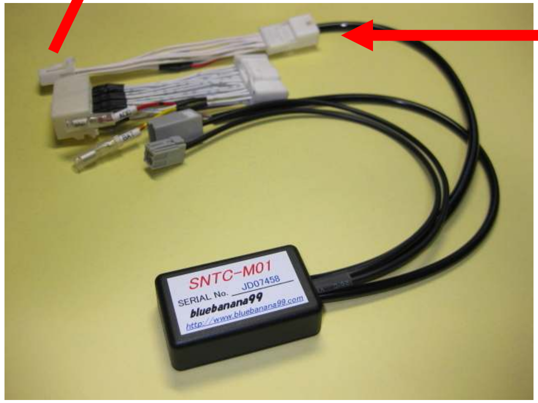
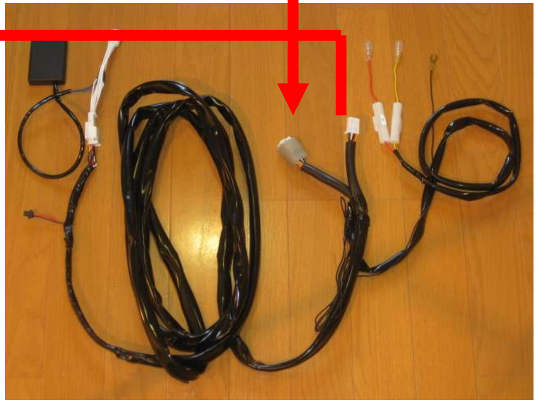
既設のTDN-H58R　12ピン電源配線、映像配線、リモコン受光部は、撤去しても構いません。

他のbluebanana99 取扱製品と取り付けする場合

iPodアダプターSL3i-UNI　テレビ・ナビコントローラー SNTC-M01と装着する場合は、

純正デッキ ー SL3i-UNI ー SNTC-M01 ー DTVC-02の順で、12ピンAVC-LANケーブルを接続してください。



もともと 純正デッキ裏に

接続されていた 12ピン